

## 第2回 国道343号笹ノ田地区技術課題等検討協議会の概要

1 日時 : 令和5年9月28日(木) 13時~14時

2 場所 : 岩手県公会堂 21号室

3 出席者  
(委員)

南 正昭 岩手大学 理工学部 教授 (座長)

井良沢 道也 岩手大学 名誉教授

北村 安 岩手県 県南広域振興局土木部 一関土木センター所長

櫻井 秀明 岩手県 沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター道路整備課長 (所長代理)

小野寺 淳 岩手県 県土整備部 道路建設課総括課長

(地域経済の専門家)

沢田 茂 いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社 シニアマネジャー



4 内容

- 第1回協議会の意見を踏まえ、航空レーザー測量データを活用した解析の結果、笹ノ田峠周辺は破砕帯等の脆弱化した地質の分布が懸念され、技術的課題が多いことを確認。
- 笹ノ田峠は、急カーブ・急勾配による速度低下に加え、特に冬期間は危機回避のため広域迂回による時間のロスが発生しており、企業ヒアリングからも冬期通行の安全確保が課題であることを確認。
- 笹ノ田峠を含む国道343号は、平泉~陸前高田間を最短・最速で結ぶ観光ルートとして期待されるが、距離が長く移動時間を要することや冬期間の迂回発生が課題であることを確認。
- 国道343号沿線では、防災拠点として期待される道の駅の整備が進められており、広域的な防災活動を支援するため、災害リスクなどの脆弱性解消が課題であることを確認。
- いわて県民計画等の取組方向にも関連させながら、対策の必要性と効果について、以下のとおり確認。

### 【対策の必要性】

- ・ 信頼性の高い道路ネットワークの確保
- ・ 広域周遊観光に必要なアクセス性の確保
- ・ 沿岸と内陸を結ぶ安全で円滑な交通の確保

### 【対策の効果】

- ⇒ 防災力強化
- ⇒ 周遊観光の促進
- ⇒ 地域間交流の活性化

5 次回協議会に向けた主な意見

- 整備の必要性が感じられたが、冬期交通の課題の資料に現場の状況写真等を加えればなお良い。
- 地質(破砕帯等)の課題は、詳細な検討をしていくことが重要。
- 道路利用者の意見を聴いたことは良く、今後もユーザーの声を把握するとともに、整備に向けた技術的課題の整理等を進めて欲しい。

6 今後の検討の進め方

- 今回いただいた意見の整理や更なる検討等を行った上で、次回の協議会では、整備方針案の検討と技術的課題の整理を行う。